

令和6年11月29日

五城目町長 渡 邊 彦兵衛 様

五城目町地方創生総合戦略推進協議会
会 長 佐 藤 佳 伸

五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する令和5年度事業の
効果検証及び評価等について（答申）

令和6年11月18日付け五まち第208010号をもって諮問の
ありました五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する令和
5年度事業の効果検証及び評価等について、協議を行った結果、次の
とおり答申いたします。

なお、協議の過程において、別紙のとおり意見がありましたので、
今後の事業実施にあたって十分な配慮をお願いいたします。

— 答 申 —

農林業関係の補助制度は、対象者が限定されているため、より柔軟な
制度設計が求められる。

空き家対策では、危険空き家の解消を含めて、新たな事業の検討をお
願いしたい。

教育留学制度は独自性が高く、事業の継続が期待される。リピーター
対応や学校側の負担軽減、もりやまこども園や千代田区との連携など、
課題への対応を進めていただきたい。

商工業者支援については多くの事業実績があり評価できる。物価高騰
や最低賃金の上昇が進む中で、働き方は多様化している。今後は、正規

のみならず、アルバイトやパートなどの非正規も含め、雇用を生み出す事業者や雇用を守り続ける事業者を支援し、雇用の拡大を図っていただきたい。

子育て支援では、ブックスタート事業など多様な事業が展開され、若者や子育て世代が移住しやすい環境が整備されている。今後は、不妊治療支援や遊び場の整備など、新たなニーズへの対応を期待する。

最後に、計画された事業は、実績に基づき見直しや廃止を行うなど、目標達成に向けて柔軟かつ適切に対応していただきたい。今後も役場各課の特色を活かしながら、相互に連携して事業を推進していただきたい。

以上